

協会だより



3 定時総会報告

第8回 定時総会

4 理事長あいさつ

5 関東地域づくり協会からのお知らせ

勤続精励職員表彰

台風19号災害対応に対して感謝状を頂きました

新型コロナウイルス感染症対策への当協会の取り組み

令和2年度 公益事業紹介

7 社会資本に関する話題

令和2年度 関東地方整備局 関係予算について

八ッ場ダム始動!

国道357号 舞浜立体が完成

日本橋地下歩道が広がりました

令和元年度 重点「道の駅」が選定されました

「道の駅」が新たに2駅登録

11 関東地方整備局に関する話題

新組織紹介「久慈川緊急治水対策河川事務所」「荒川調節池工事事務所」

「関東道路メンテナンスセンター」が移転

会員情報

12 新会員紹介・お悔やみ

編集委員会だより

今回号の掲載記事について

新型コロナウイルス感染拡大防止の配慮から、シリーズ企画「プロジェクトK」「関東の宿場町」

「関東の土木遺産」「関東の道の駅」については掲載を休止しました。

協会だよりへの投稿のお願い

協会だより編集委員会では、会員の皆さまからの原稿を募集しています。ふるってご投稿ください。

会員のひろば：趣味や特技、現役時代の思い出、紀行文など800～1200字程度で写真数枚を添えてご投稿ください。**会員の近況コーナー**：近況報告、エピソード、はまっている物、おすすめの本の紹介など何でも結構です。思いつくままの短文（1行でも）を書き連ねていただき、お気軽にご投稿ください。**表紙写真**：四季を感じられる写真等ご投稿ください。

提出先→協会だより編集委員会宛 ●E-mail：kyokai-dayori@kt-chkd.or.jp ●FAX：048-600-4175



表紙の言葉

こうもとたいと
甲本泰彪さん

(横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校3年生(受賞時))

早くつながれ ぼくのまちの道

「この写真は、ぼくの住む町に造っている高速道路の栄インターチェンジ・ジャンクションのところ。写真をとった理由は、夏休みに橋脚に道がかかったのを見て、一番にお気に入りのミニカーを走らせてみたかったからです。まだ道はつながっていないけれど、ここから横浜や湘南につながると思うとワクワクしています。早くつながれ ぼくのまちの道!!!」

未開通の高架部分を選んだことと、貨物トラックのミニチュアを使った遠近法を利用したトリック写真のアイデアが評価されました。

第8回 定時総会



令和2年6月16日（火）、大手町サンケイプラザ（東京都千代田区大手町）において、第8回定時総会が開催されました。今回は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、当初ご案内していた定時総会後の講演会と懇談会は行わずに、定時総会のみで開催に変更することとし、定時総会に出席を予定されていた会員の多くから書面による議決権の行使または議決権の代理行使をしていただいた結果、総会員数1,318名のうち出席者16名、書面による議決権の行使者290名、委任状提出者790名をいただき、定時総会を開催することとなりました。

定時総会の冒頭、奥野理事長によるあいさつが行われ、議事録署名人が選出され、その後、議事である第1号議案の令和元年度事業報告および決算について、事務局より説明、引き続き、監事から会計監査報告が行われ、続いて令和2年度事業計画および予算について、事務局から報告されました。その後、総会に届けられた祝電が披露されました。

例年は400名を超える会員が集まる会場ですが、今年は閑散とした中、講演会や懇談会もない総会となりましたが、会員の皆さまのご理解とご協力により定時総会を無事に終了することができました。



3密を避け少人数での開催

理事長あいさつ

奥野晴彦

新型コロナウイルスによる感染者、死亡者の増大により、私たちの日常生活活動や我が国の経済活動などに多大な影響が続いている中、会員の皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。お変わりはございませんでしょうか。

このような情勢の中、第8回定時総会では、恒例の総会後の講演会、懇親会を中止せざるを得ず、また、会員の皆さまに極力書面による表決をお願いしたところ、多くの会員の協力が得られ、3密とならない、少人数による総会開催の運びとなりました。皆さまのご協力にあらためて深くお礼申し上げます。

100年前のインフルエンザ大流行では、現時点での数字よりも2桁以上多い人命が失われました。第3波までの感染拡大があり、終息まで約3年かかったそうですが、今回の感染を1日も早く終息に持って行くためには、当時とくらべ格段に発達した医療技術、情報レベルを駆使して、全世界の国々、人々が協力していく必要があります。私たちの日常生活様式、行動もこれまでとは大きく変えていく必要があるとされています。こればかりは、「喉もと過ぎれば」は許されません。できることを着実に実践していくことを、皆が心がけなければなりません。

当会におきましても、職員に対する感染予防措置の指導、時差通勤や、緊急事態宣言発令中の在宅勤務の試行などの対応を行ってまいりました。この経験を生かし、今後の職務の執行においても、感染拡大に対処する方策をできるだけ取り入れていきたいと考えております。

誰もが経験したことの無いこの災厄の中で、忘れてしまいそうになりがちですが、毎年のように我が国を襲う自然災害への備えもしっかりと行わなければなりません。

ん。昨年も災害の多い年でした。関東地域では、9月から10月にかけて、台風15号、19号、21号が相次いで上陸、接近し、とんでもない被害をもたらしました。これまでに経験したことのないような暴風、大雨により、貴重な人命、家屋、財産が失われたことは、記憶に新しいところです。

この災害に際し、地方整備局の職員、全国から応援に駆けつけたテックフォースの皆さんの活躍は目を見張るものがありました。この方たちを支援する防災エキスパートの皆さんの活躍も大変なものでした。長年培った現場感覚を駆使して、遺憾なく力を発揮していただきました。このエキスパートの皆さんの活動に対し、本年2月関東地方整備局長から感謝状を頂きました。これもひとえに皆さまのご尽力のたまものであり、あらためてお礼申し上げます。

今年もこれから梅雨、台風などの降雨による出水期を迎えます。また、規模は小さいのですが、地震も多数発生しています。新型コロナウイルスによる混乱の中、大規模な災害が発生しますと、その影響は計り知れないものとなってしまいます。ここ数年皆さまへのあいさつの中で、「何が起こるかかわからない、何が起っても不思議ではない」と申し上げました。何が起っても慌てないよう、いろいろなことに対し、十分な備えをしておかなければなりません。地域の安全、安心を守り、経済を活性化するための基盤が常に機能をしっかり発揮できるよう、引き続き万全の備えをしていかなければなりません。

当協会としても、安全かつ活力ある地域づくりを目指し、全力を尽くしてまいります。会員の皆さまのこれまで以上のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

本日は、令和元年度の事業報告、決算



および令和2年度の事業計画等について、報告し、審議いただきます。令和元年度の当会の事業については、おかげさまで、公益事業、その他事業それぞれ着実に実施できました。事業監理業務、第三者品質証明業務も前年度に比べ執行額が増加しました。これを受け決算状況は、昨年度に比較し、多少ではありますが、改善されています。また、この決算においては昨年報告いたしました協会の今後のありかた、そのための資産の活用方策を反映しています。ご理解いただくようお願いいたします。

今年度においても、引き続き当会の使命を果たすため、防災事業をはじめとする公益事業、基盤整備を円滑に進めるための事業監理業務、品質の確保業務などを積極的に進めるとともに、新たな分野にもチャレンジしてまいります。新型コロナウイルスによる感染等の状況が、当会の事業執行にどの程度影響するか現時点では明らかではありませんが、何があっても柔軟に対応できるよう全力を尽くしてまいります。

終わりに、会員の皆さまのご健勝とご繁栄を祈念いたしまして、あいさつといたします。

定時総会后、協会だより発行までの間に長期間にわたって停滞した梅雨前線により、全国各地で大きな洪水、土砂災害が発生しました。この災害で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

勤続精励職員表彰

関東地域づくり協会表彰規程に基づいた勤続精励表彰式が6月23日（火）、本部会議室において執り行われました。今年度は、総務部所属1名、業務企画部所属3名、高崎支部所属1名の計5名の職員が対象となりました。理事長はじめ役員立ち会いの下、表彰状と記念品が手渡され、受賞者は緊張した面持ちで受け取りました。

理事長からは、これまでの働きへの感謝と今後への期待の言葉が贈られました。

写真／前列左から
益子明子嘱託職員
奥野理事長
宮下和憲調査役

写真／後列左から
渡邊理事
畔柳明史技術主任
古賀英明専門役
黒石幸二専門役
後藤専務理事



台風19号災害対応に対して感謝状を頂きました

2月19日（水）、関東地方整備局において、令和元年8月九州北部豪雨、令和元年台風15号および令和元年台風19号並びに令和元年10月の前線による大雨の災害対応業務にあたり、多大な貢献があった企業に対する感謝状贈呈式が行われました。

当協会も、台風15号および台風19号災害対応における防災エキスパートの出動要請対応等の支援に対して、石原関東地方整備局長から感謝状を頂きました。

これを受けて防災エキスパート事務局代表の理事長から、出動していただいた防災

エキスパートの方々および出動された防災エキスパートの所属企業あてに、支援活動とご協力に対するお礼状をお贈りしました。



関東地方整備局長からの感謝状
感謝状贈呈式

新型コロナウイルス感染症対策への当協会の取り組み

関東地域づくり協会本部では、新型コロナウイルス感染症対策として、職員の在宅勤務や時差通勤、マスク着用、手指消毒等を行っております。

業務執行では、受託事務所等で執務している事業監理業務において移動や接触リスク回避が可能なWeb会議を試行しています。

協会本部の会議室の利用については、1会議室10名程度、第1・第2全体で20名程度の密にならない範囲での利用をお願いしています。



本部と各事務所とのWeb会議を試行

令和2年度 公益事業紹介

3月25日(水)公益助成事業審査会(外部委員2名含む)において、
令和2年度の公益助成事業の申請84件が審議され、75件が採択されました。

地域活性化

全18件

人口減少、少子高齢化が進む社会の中で衰退している地域社会において、環境保全や観光、文化、歴史、自然等の地域資源を活用する事業への支援を通じて、地域づくり、地域活性化に寄与することを目的とする事業。

事業名

- 棚田再生を活用した持続的環境保全および地域活性化事業
- やんばウォーク
- 中部横断自動車道(南部~下部温泉早川) 開通イベント事業 ほか



埼玉県横瀬町棚田再生(令和元年度)

調査研究・技術開発

全4件

大学・団体・企業等を対象に技術開発研究費用の一部を支援するとともに、社会資本の記録・整理・整備に関する研究活動への支援を行うなど、広く社会資本の整備の推進に寄与することを目的とする事業。

事業名

- 飯田橋を拠点とした防災機能強化と水辺空間におけるまちづくり調査研究
- 災害タイムラインアプリ「天サイ!まなぶくんタイムライン」開発
- 新河岸川流域水質一斉調査 ほか



都心の水辺空間を活用した防災機能強化(外濠再生計画概略断面スケッチパース)

防災

全10件

災害時の防災エキスパートによる災害対応支援活動および平常時の防災のための公共施設点検、防災意識の向上、啓発等の広報活動支援を通じて、災害時の迅速かつ確な対応に寄与することを目的とする事業。

事業名

- 防災エキスパート活動支援事業
- 災害復旧事業技術講習会
- 市民防災まちづくり塾 ほか



防災エキスパートによる災害対応支援活動(東日本台風豪雨被災状況調査)(令和元年度)

講演会等

全9件

河川や道路等の社会資本の整備が、防災、治水、利水、物流、観光等地域社会や経済等に果たしている役割等について、講演会やセミナーの開催、優良な工事に対する表彰等を通じ、広く理解を深められることを目的とした事業。

事業名

- 建設技術展示館
- 大山山麓地域活性化シンポジウム開催事業 ほか



地域づくり講演会(令和元年度)

環境保全

全24件

関東地域内に残る自然環境の調査、保護、再生に取り組む活動への支援、河川や道路等の社会資本を清掃・美化する活動への支援、地域の自然に興味を促すことで環境愛護の精神を育む活動への支援を通じ、地域に貢献することを目的とする事業。

事業名

- 関東・水と緑のネットワーク形成プロジェクト
- 道路、河川愛護活動のためのボランティアサポートプログラム
- 渡良瀬遊水地貴重植物保全事業 ほか



荒川環境美化活動(令和元年度)

広報

全10件

河川や道路等の社会資本の役割や重要性などについて、新聞・映像・テレビ・HP等で広く報じることにより、地域住民等の社会資本への理解が深められることを目的とした事業。

事業名

- 道のある風景写真コンクール
- 中学生体験学習(校倉風木造倉庫建設・測量体験・重機操作体験) ほか



道のある風景写真コンクール入賞作品展示(千代田区役所)(令和元年度)

社会資本に関する話題

令和2年度 関東地方整備局 関係予算について—直轄事業は10%減の5,369億円

3月31日（火）関東地方整備局から令和2年度予算の概要が公表されました。総事業費は1兆9,665億円（対前年比0.94倍）で、内訳は直轄事業費が5,369億円（対前年比0.90倍）、補助事業費が1兆4,296億円（交付金を含む。対前年比0.95倍）となっています。

予算区分と主要事業の概要は以下のとおりです。

■総括表（直轄事業+補助事業）

（単位：百万円）

区分	令和元年度	令和2年度			倍率	国庫債務負担行為（ゼロ国債）
		直轄	補助	合計		
治水	155,410	104,633	33,732	138,365	0.89	4,526
海岸	4,525	2,195	500	2,695	0.60	1000
道路	396,863	288,697	173,037	461,734	1.16	9,240
港湾	87,994	69,810	5,928	75,738	0.86	
空港	44,909	42,589		42,589	0.95	
住宅対策	73,238		49,333	49,333	0.67	
市街地整備	129,675		168,282	168,282	1.30	
都市水環境整備	10,702	10,856		10,856	1.01	70
下水道	1,748		7,155	7,155	4.09	
国営公園等	6,080	6,097		6,097	1.00	
社会資本総合整備	1,165,894		991,632	991,632	0.85	
一般公共事業計	2,077,038	524,877	1,429,599	1,954,476	0.94	14,836
官庁営繕	17,128	12,038		12,038	0.70	198
合計	2,094,166	536,915	1,429,599	1,966,514	0.94	15,034

※空港の金額は、東京国際空港配分額のうち、関東地方整備局の執行分。
※社会資本総合整備は、「社会資本整備総合交付金」と「防災・安全交付金」がある。
※計数はそれぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合がある。

■主要事業の概要

事業の名称	事業の概要	令和2年度予定
鬼怒川緊急対策プロジェクト （河川激甚災害対策特別緊急事業）	「平成27年9月関東・東北豪雨」を踏まえ、鬼怒川下流域（茨城県区間）において、国、茨城県、鬼怒川沿川7市町村が主体となり、「ハード対策」と「ソフト対策」が一体となった治水対策を「鬼怒川緊急対策プロジェクト」として実施している。国においては鬼怒川の再度災害防止のため、決壊した堤防等の復旧、無堤地区の堤防整備、高さや幅が足りない堤防のかさ上げや拡幅、洪水時の水位を下げるための河道掘削などを令和2年までに緊急的・集中的に実施し、治水安全度の向上を図る。	・引き続き堤防整備等を実施する予定。 ・堤防整備に伴い、排水の確保のため樋管の改築を実施する予定。 [令和2年度事業費：約117.5億円]
荒川第二・三調節池 （大規模改良工事）	荒川流域は、東京都と埼玉県にまたがり、流域内には、日本の人口の約8%が集中している地域である。特に埼玉県南部および東京都区間沿川は人口・資産が高密度に集積している地域となっている。荒川の治水安全度向上のための抜本的な対策として、広い高水敷を活用した調節池の整備を実施し治水安全度の向上を図る。	・用地取得、対岸堤築堤、可動掘削を実施する予定。 [令和2年度事業費：約17.2億円]
久慈川緊急治水対策プロジェクト （河川大規模災害関連事業、河川等災害復旧事業等）	「令和元年東日本台風」で甚大な被害を受けた久慈川において、国、茨城県、久慈川沿川6市町村が連携し、「河道・流域における対策として多重防衛治水の推進」と「ソフト施策による減災に向けた更なる取り組みの推進」を実施。国においては久慈川の堤防、護岸の被災施設の迅速な復旧、河道内の土砂掘削、樹木伐採による水位低減、霞堤の整備、掘削土を活用した堤防整備等を令和6年度までに緊急的・集中的に実施し治水安全度の向上を図る。	・決壊箇所およびその他の被災箇所の災害復旧を実施する予定。 ・河道掘削を行うとともに、掘削土を活用した堤防整備等を実施する予定。 （参考）令和元年度（補正）事業費：約34.4億円 [令和2年度事業費：約2.3億円]
首都圏中央連絡自動車道	首都圏中央連絡自動車道は、首都圏の幹線道路の骨格となる3環状9放射の道路ネットワークを形成し、都心から半径およそ40～60kmの位置に計画された総延長約300kmの環状の高規格幹線道路である。平成29年2月には茨城県区間が全線開通し、圏央道全体約300kmのうち約9割がつながった。	・未開通区間の整備によるネットワーク効果の早期発現に向け、調査設計、用地買収、改良工事、橋梁工事、トンネル工事を実施する予定。 [令和2年度事業費：約490.3億円]
東京外かく環状道路 （関越～東名）	東京外かく環状道路（関越～東名）は、東京の中心から半径約15km地域を結ぶ延長約85kmの環状道路のうち、東京都市圏の都心方向に集中する交通を適切に分散、導入し、東京都市圏の均衡ある道路網体系を確立する関越道から東名高速までの延長約16kmの事業である。	・調査設計、用地買収、区分地上権設定、橋梁下部工事、トンネル工事、改良工事を実施する予定。 [令和2年度事業費：約200.0億円]
中部横断自動車道	中部横断自動車道は、上信越自動車道、中央自動車道、新東名高速道路を結ぶ広域高速ネットワークを形成し、物流の効率化、緊急医療活動の支援、災害時の代替道路の確保等を目的とした、日本列島の中央部を南北に結ぶ延長約132kmの高速自動車国道である。	・富沢IC～六郷IC間の約28kmのうち未開通区間である南部IC～下部温泉早川IC間は令和2年内の開通を目指し、調査設計、公共補償、改良工事、トンネル工事、橋梁上部工事、舗装工事、施設・設備工事を実施する予定。 [令和2年度事業費：約151.4億円]

ハッ場ダム始動！ ダム湖名は「ハッ場あがつま湖」に

令和元年10月1日より試験湛水を開始したハッ場ダムは、ダム堤体および貯水池周辺の安全性が確認でき、ダムの機能が発揮できる状況が整ったため、3月9日に試験湛水を終了し、3月31日に完成しました。

4月1日にハッ場ダムの管理が開始されたことに伴い、利根川ダム統合管理事務所にハッ場ダム管理支所が設置されました。

また、ハッ場ダムによって誕生する新しい「湖」の名称については、地元住民、長野原・東吾妻両町、群馬県および国土交通省で構成される「ハッ場ダム水源地区ビジョン協議会」で公募を行いました。北は北海道から南は鹿児島まで、全国各地から総数約1,000件の応募が寄せられ、1月27日、同協議会における協議により「ハッ場あがつま湖」に決定されました。

7月7日には、新型コロナウイルス感染症への対応のため一般開放が延期されていたハッ場ダム天端と展望デッキが、感染症対策を実施した上で開放されました。



5月12日、満水になったハッ場ダム。ここから洪水期制限水位に向けて水位を徐々に低下



操作室の状況

また「やんば見放台」「川原湯展望広場」も再開放され、併せて「ハッ場あがつま湖」の湖名碑の披露、湖名命名者および特別賞受賞者への記念品贈呈が行われました。



ハッ場ダム天端および湖名碑(全景) 令和2年6月撮影



ハッ場ダム管理支所



ハッ場ダム管理支所

住所：群馬県吾妻郡長野原町大字川原畑 1121-31
JR吾妻線「川原湯温泉駅」より徒歩40分(車で5分)
電話：0279-83-2560

記事・写真：関東地方整備局HP、利根川ダム統合管理事務所HPより

国道357号 舞浜立体が完成

6月28日(日)、渋滞緩和を目的として整備が進められている国道357号舞浜交差点の立体化(舞浜立体)が完成し、開通しました。

首都国道事務所では、舞浜立体の開通にあたり、道路の開通のお知らせやこれまでの地域の皆さまのご支援とご協力への感謝を表すことを目的として、ホームページを開設しています。



URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/syuto/maihama/>

- 開通箇所 千葉県浦安市舞浜地先
- 開通延長 約0.9km
(千葉方面行き、東京方面行きの自動車専用部)



記事・写真: 関東地方整備局HP、首都国道事務所HPより

日本橋地下歩道が広がりました

東京国道事務所では、日本橋地区都市再生事業として、新たな歩行空間や賑わい空間を創出するため、地下コンコースを活用し沿道建物と一体となった地下歩道の整備を官民連携で進めています。

3月31日(火)、COREDO室町テラス南側の約34mが完成し、地下歩道が約3~4m広がりました。

この完成により、事業区間の西側において、COREDO室町テラスから三越本店新館までの約450mの地下歩道が連続的につながり、快適性が向上しました。



今回完成区間(整備前)



整備後のイメージ
(COREDO室町テラス前 完成済み区間)

記事・写真: 関東地方整備局HP、東京国道事務所HPより

令和元年度 重点「道の駅」が選定されました

「道の駅」は、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段であり、国土交通省では、関係機関と連携して、地方創生の核となる特に優れた企画を選定し、重点的に応援する重点「道の駅」の取り組みを平成26年度から実施しています。

令和元年度は、地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置またはリニューアル等の企画提案の募集に対して、関東地方整備局管内で4件の応募があり、重点「道の駅」2箇所、重点「道の駅」候補2箇所が選定されました。

- 重点「道の駅」(国土交通大臣選定)
 - ・茨城県笠間市 道の駅「(仮称)笠間」
 - ・千葉県南房総市 南房総市道の駅(8駅)

今後の施設整備に向け、駐車場や休憩施設等は社会資本整備総合交付金等で重点支援するとともに、自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等についてワンストップで相談できる体制を構築するなど、ハード・ソフト両面から支援

- 重点「道の駅」候補(関東地方整備局長選定)
 - ・群馬県みなかみ町 道の駅「みなかみ水紀行館」
 - ・群馬県前橋市 道の駅「(仮称)まえばし」

自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等についてワンストップで相談できる体制を構築するなど、主にソフト面から支援

「道の駅」が新たに2駅登録 — 関東地方整備局管内では180駅に

関東地方整備局管内では、3月13日付けで新たに2駅が登録され、合計で180駅となりました。

(全国「道の駅」登録数：1,180駅(7月時点))

- 道の駅「足柄・金太郎のふるさと」
神奈川県南足柄市(市道塚原・斑目線) 令和2年6月26日開業
- 道の駅「ピーナスライン蓼科湖」
長野県茅野市(主要地方道茅野停車場八子ヶ峰公園線) 令和2年7月17日開業

関東地方整備局管内 180駅の内訳

- 茨城：14駅
- 栃木：25駅
- 群馬：32駅
- 埼玉：20駅
- 千葉：29駅
- 東京：1駅
- 神奈川：4駅
- 山梨：21駅
- 長野：34駅



記事：関東地方整備局HPより

新組織紹介

「久慈川緊急治水対策河川事務所」「荒川調節池工事事務所」が設置されました

関東地方整備局では、令和元年東日本台風からの復旧・復興を加速化し、洪水災害への備えを強力に推進するため、茨城県常陸太田市に「久慈川緊急治水対策河川事務所」を、また荒川の治水安全度向上のため、埼玉県さいたま市に「荒川調節池工事事務所」を、それぞれ4月1日（水）に設置しました。

●久慈川緊急治水対策河川事務所

久慈川緊急治水対策河川事務所では、令和元年東日本台風により甚大な浸水被害が発生したことを受け、久慈川水系久慈川の堤防整備等による本格的な災害復旧工事を含めた「久慈川緊急治水対策プロジェクト」等の取り組みを一層強力に推進します。



久慈川緊急治水対策河川事務所の看板設置。左から石川事務所長、石原局長

住所：茨城県常陸太田市木崎一町700-1
JR水郡線
「常陸太田駅」より徒歩5分
電話：0294-72-1151



●荒川調節池工事事務所

荒川調節池工事事務所では、荒川中流部において、既存の荒川第一調節池に加え、新たに第二および第三調節池の整備を推進し、洪水時の河道流量の低減、下流の東京都、埼玉県の広範囲に及ぶ治水安全度の向上を図ります。



荒川調節池工事事務所の銘板除幕。左から武藤事務所長、石原局長、佐藤河川部長



住所：埼玉県さいたま市桜区田島8-17-1
JR武蔵野線「西浦和駅」より徒歩10分
電話：048-767-6041

記事：関東地方整備局HPより 写真提供：久慈川緊急治水対策河川事務所、荒川調節池工事事務所

「関東道路メンテナンスセンター」が移転しました

「関東道路メンテナンスセンター（関東MC）」は平成31年4月1日に、急速に老朽化する社会資本の対策を強化するため、点検データ等を活かした、より戦略的・効率的なメンテナンスを推進するための組織として設置されました。同センターは5月11日（月）に、さいたま新都心合同庁舎2号館から、さいたま市大宮区吉敷町1-89-1タカラビル2階へ移転しました。

電話：048-729-7780



荒川センター長による看板かけ



庁舎外観

記事・写真：関東道路メンテナンスセンター HPより

新会員をご紹介します 新しく33名の方が入会されました。これからよろしくお願いたします。

氏名	現勤務先
秋山 正人	(一財) 建設物価調査会
池部 憲次	(一社) 建設電気技術協会
井出 昌克	関東建設マネジメント (株)
伊藤 和彦	(特非) 日本水フォーラム
伊與田弘樹	(一財) 橋梁調査会
太田 久	(一社) 関東地域づくり協会
大槻 務	関東建設マネジメント (株)
大平 和明	関東建設マネジメント (株)
岡野 稔	関東建設マネジメント (株)
小栗 幸雄	関東建設マネジメント (株)
乙守 和人	(一財) 国土技術研究センター
鹿島 秀昭	関東建設マネジメント (株)
香取 孝史	関東建設マネジメント (株)
黒岩 勇輔	(株) 竹中道路
越川 裕	関東建設マネジメント (株)
牛腸 宏	(一財) 渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団
神宮寺保秀	(一財) 先端建設技術センター

氏名	現勤務先
鈴木 武彦	(一社) 日本道路建設業協会
高橋 進	前田道路 (株)
竹本 隆之	(一財) 全国建設研修センター
中島 祥行	(株) 守谷商会
中村 修也	関東建設マネジメント (株)
野口 明義	(株) パスコ
早野 英人	(一財) 全国建設研修センター
原 修	(一財) 橋梁調査会
原 和利	(一財) ダム技術センター
原山 幸彦	飯田鉄工 (株)
蛭川 満	関東建設マネジメント (株)
松村 俊雄	(一財) 全国建設研修センター
吉池 正弘	(一財) 先端建設技術センター
吉田 武史	開発技研 (株)
吉見精太郎	(一財) 日本みち研究所
渡辺 稔	関東建設マネジメント (株)

お悔やみ申し上げます 14名の方々に心からご冥福をお祈り申し上げます。

氏名	逝去年月	建設省(現国土交通省)退職時職名
會田 正	令和元年9月	新潟県 土木部長
小石川正男	令和元年11月	荒川上流 事業対策官
大竹 久	令和元年11月	利根川下流 出張所長
平井 政雄	令和元年12月	河川部 河川工事課長補佐
阿部 昭	令和2年2月	首都国道 建設専門官
加藤 信吉	令和2年3月	森林公園 管理所長
川本 正知	令和2年3月	河川局長

氏名	逝去年月	建設省(現国土交通省)退職時職名
上條 良久	令和2年4月	森林公園 管理所長
福田 實	令和2年4月	森林公園 管理所長
田村 信治	令和2年5月	利根川上流 建設専門官
竹倉 新吉	令和2年5月	霞ヶ浦河川 事務所長
倉島 収	令和2年6月	北陸地建 企画部長
谷村大三郎	令和2年6月	相模川水系広域ダム 事務所長
市川 勝巳	令和2年7月	常総国道 事務所長

編集委員会だより

令和2年8月

〇の夏、7月24日から、新型コロナウイルスによる影響がなければ、「東京2020オリンピック」が開催され、17日間の熱戦が繰り広げられる予定でした。

近代オリンピック史上初の延期、来年7月23日からの開催となりました。はたしてそれまでに、世界的なコロナウイルスの流行は収束しているのでしょうか。開催できても以前のような開催方法とはいかないでしょう。ウイルスに打ち勝った祝典となることを願ってやみません。

1年延期という期間は、出場選手へのような影響を与えるのか。受け止め方はさまざまです。ゴルフや卓球、体操などを楽しみにしていますが、スノーボードの第一人者平野歩夢が出場するスケートボードは注目したいところですが。

競泳では、リオの金メダリスト萩野公介が長い不調と休養を経て、どこまでくらくらいついていけるのか。調整の上に調整を加えた日本人選手の活躍を期待したいものです。

何はともあれ、57年ぶりの東京大会が盛況のうちに開催され、次回パリ大会へ無事にタスキを渡せることを願うばかりです。

(編集委員 N・K)

編集委員

- [関東地域づくり協会]
- 澤田晋
- 堤盛良
- 中村一夫
- 野橋明彦
- 前田隆徳
- [会員]
- 望月美知秋 ((株) 日水コン)
- 田中良彰 (大成建設 (株))